

茨木ある記

「まなびどり」では、創刊以来、茨木の魅力を再発見するため、「編集ボランティア」が茨木市内の名所旧跡、あるいはぜひ紹介したいという場所を実際に訪ね歩き掲載してきました。

茨木市は南北に長い形をしており、南の方は市街地、北の方は自然豊かな北摂山系に連なっています。南部地域には茨木市の歴史を物語る遺跡・史跡が数多くあります。北部地域には恵まれた自然環境を生かした公園や施設があり、新たに高速道路やダム建設が進んでいます。

そこで今回の「茨木ある記」では、南部地域は、遺跡・史跡や文化財に、北部地域は山間部で進む「インフラ」に焦点を当ててみました。取材では、「茨木市立文化財資料館」、建設が進んでいる「新名神高速道路」と「安威川ダム」の工事現場を訪ねました。

地図中の番号は「まなびどり」の取材で訪れたところです。囲みの中の説明に付した()内は「まなびどり」のバックナンバーと発行年月です。バックナンバーは生涯学習センターのホームページでご覧いただけます。
(<http://www.kira.city.ibaraki.osaka.jp/>)



19 茨木の歴史を今に伝える茨木市立文化財資料館

阪急電鉄・大阪モノレール南茨木駅から東へ5分ほど歩いたところに文化財資料館があります。昭和46年(1971年)に発見された弥生時代の遺跡である東奈良遺跡の地に昭和59年(1984年)3月に開館しました。茨木で見つかった貴重な歴史資料が時代を追って展示されています。タッチパネル操作で茨木の歴史や文化財がひとめでわかる「遺跡分布模型」や、東奈良遺跡で見つかった銅鐸鑄型についての3次元映像や銅鐸鑄型発見の調査記録が紹介されています。

旧石器時代: 郡、太田地区で石器が見つかったことから、この時代、すでに人の往来があったことがわかります。

縄文・弥生時代から古墳時代: 東奈良遺跡から出土した銅鐸をつくるための鑄型はほぼ完全な形を保っており、全国的にもめずらしいものです。市内では三島地域最大の太田茶臼山古墳をはじめ、およそ200基の古墳が見つかっています。今も見学できる古墳が市内のあちこちにあり、その構造や副葬品などもわかりやすく詳しく説明されています。

飛鳥時代から安土・桃山時代: 太田廃寺などの古代寺院や式内社の展示や解説があります。茨木城の解説や、城主やゆかりの人たちをはじめ、時代を物語る文献・史料が展示されています。

江戸時代: 参勤交代で大名たちが宿泊した郡山宿本陣の写真パネル、隠れキリシタンの里千提寺で見つかった聖フランシスコ・ザビエル像(複製)なども目を引きま。

明治、大正、昭和: 人々の生活に関わりのある農機具や台所用品などの民俗資料が展示され、ある年代以上の人には懐かしく感じられるものもあります。

~茨木市南部~

① 梅花女子大学

② 郡山宿本陣「榎の本陣」



⑩ 辨天宗冥應寺(弁天さん)



大阪モノレール 宇野辺駅

阪急 大阪モノレール 南茨木駅

⑨ 茨木市立文化財資料館

⑫ 茨木城址

⑬ 梅林寺

⑭ 茨木神社

⑮ 茨木市立天文観覧室 プラネタリウム

⑯ 元茨木川緑地

⑰ 若園公園「バラ園」

⑱ 中央卸売市場

⑲ 元茨木川緑地梅林

⑳ サンチャイルド

㉑ 若園公園バラ園(57号 平成27年8月)

㉒ 大阪府中央卸売市場(54号 平成26年8月)

㉓ 元茨木川緑地梅林(59号 平成28年4月)



⑲ 若園公園バラ園(57号 平成27年8月) 市の花であるバラが150品種、約2,300株植えられていて春と秋に美しい花を咲かせます

⑳ 大阪府中央卸売市場(54号 平成26年8月)

㉑ 元茨木川緑地梅林(59号 平成28年4月)

① 梅花女子大学(57号 平成27年8月)

② 郡山宿本陣(61号 平成28年12月) 江戸時代、西国街道の宿駅として参勤交代時に中国・四国・九州地方の西国大名が、また、身分の高い武士や公家・幕府役人などが宿泊・休憩に利用した宿です。

③ 耳原公園(49号 平成24年12月) 耳原大池を囲み、散策デッキや木製遊具などがある自然豊かな公園です。

④ 白井河原の合戦跡(49号 平成24年12月)

⑤ 西河原公園(55号 平成26年12月) 「大阪みどりの百選」にも選ばれた、豊かな自然が楽しめる公園です。

⑥ 磯良神社(虎水神社)(49号 平成24年12月) 境内にある井戸「玉ノ井」から湧き出る水を疣につければ疣が取れるという伝説があります。

⑦ 総持寺(49号 平成24年12月) 高野山真言宗のお寺で、十一面千手観世音菩薩像が本尊です。西国22番札所として毎年4月18日に「山陰流包丁式」が行われます。

⑧ 富士正晴記念館(58号 平成27年12月) 安威に住んでいた詩人・小説家の富士正晴氏が生前に収集されていた文学資料や自作の絵画などを収集、展示しています。

⑨ 茨木市立中央図書館(49号 平成24年12月)(59号 平成28年4月)

⑩ 辨天宗冥應寺(48号 平成24年8月) 春は多くの桜の花が咲き、夏は約3000発の花火が打ちあがる奉納花火大会が開かれます。

⑪ 川端康成文学館(51号 平成25年8月) 幼児期から旧制中学卒業まで、茨木で暮らしたノーベル文学賞作家川端康成氏のゆかりの品々を展示しています。

⑫ 茨木城址(50号 平成25年4月)(56号 平成27年4月) 櫓門は茨木小学校の正門として復元されています。

⑬ 梅林寺(50号 平成25年4月) 阿弥陀如来を本尊とする浄土宗のお寺で、秀吉の書簡、中川清秀画像などがあります。

⑭ 茨木神社(天石門別神社)(50号 平成25年4月) 市のほぼ中心部にあって、毎年6月30日に「茅の輪くくり」、7月14日に「夏祭り」などの行事があります。境内北側に延喜式内社の「天石門別神社」があります。

⑮ 茨木市立天文観覧室(プラネタリウム)(51号 平成25年8月)(54号 平成26年8月) 直径8m水平型ドームスクリーンにコニカミノルタ製MS-8型(手動)とデジタル投影機でその季節の星空をはじめ、太陽や惑星、流れ星などを映し出します。

⑯ 立命館大学OIC(58号 平成27年12月)

⑰ 溝咋神社(57号 平成27年8月) タマクシヒメとタタライスズヒメ(神武天皇妃)を祀っている古社で、市内の神社の中で最も古いものとされています。

⑱ 元茨木川緑地(58号 平成27年12月) 全長約5kmの元茨木川をグリーンベルト化し、桜を主に40種類約7万本の樹木が植えられています。

⑳ サンチャイルド(48号 平成24年8月) 茨木市出身の現代美術家 ヤノバケンジさんの作品

